

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 坪田 康 副委員長 近藤公久・竹内和広
幹事 森下美和・高田明典 幹事補佐 神長伸幸・下郡啓夫

日時 3月14日(日) 10:00~17:40

会場 オンライン開催

議題 テーマ(1): 言語と学習・言語の学習 テーマ(2): 意味の創発・場の共創・創発とイノベーション テーマ(3): 言語環境と言語資源

セッション (10:00~12:10)

1. 自動車ドライバの感情推定 ○吉本晴香・伊藤 篤 (中大)
2. 打音検査における経験知のAI化の可能性の検討
○武井寛樹・伊藤 篤 (中大)・福村飛翔・小池正史 (宇都宮大)・日比野克彦・川村喜久 (ポート電子)
3. [招待講演] 人工知能と機械翻訳 (2020年3月研究会の振替分) 井佐原 均 (豊橋技科大)

午後第1セッション (13:10~14:10)

4. [招待講演] 言語の場面性—いま・ここ・現実・私たち— (2020年3月研究会の振替分) 定延利之 (京大)

第2セッション (14:25~17:40)

5. VLS-BERT: 視覚・言語・主観的感覚からの終助詞の意味獲得
○松島 茜・岡 夏樹・深田 智 (京都工繊大)・吉村優子 (金沢大)・川原功司 (名古屋外国語大)
6. ELF 多人数課題達成会話における質問—応答連鎖—感情と心的態度を示すパラ言語情報を中心に— ○谷村 緑 (立命館大)・竹内和広 (阪電通大)・吉田悦子 (三重大)・仲本康一郎 (山梨大)・山口征孝 (神戸市外国語大)
7. 共同体論からみたサードプレイスにおける自己創発と表出の研究 市川友博 (東工大)
8. 視覚注意範囲 (visual attention span) が日本人の児童の読みに与える影響
○杉本明子・柴崎光世 (明星大)・吉田弘司 (比治山大)・細川淳嗣 (県立広島大)
9. 脳波を利用した観光における気付きの分析
○中山春佳・伊藤 篤・平松裕子 (中大)・原田康也 (早大)・上田一貴 (東大)・森下美和 (神戸学院大)
10. 海外の都市における言語景観調査のための予備調査 森下美和 (神戸学院大)